

水道ビジョンについて

第1回

津山市水道事業経営審議会

5月31日 13:30～15:30





津山市水道ビジョン

平成20年度「津山市水道ビジョン」策定

平成29年度「津山市水道ビジョン」改定

- ・本市水道事業における“**状況分析**”+“**課題の抽出**”
- ・次世代に引き継ぐために必要な事項を把握
- ・平成30年度から令和9年度までの10年間の
“**主要政策**”と“**取り組む方向性**”を示す

令和4年度

中間見直し：PDCAサイクルに基づく継続的な改善



津山市水道の課題（1）

水需要 動向

- ・ 給水人口及び給水量の減少
- ・ 水道施設の統廃合や施設能力の適正化

お客様
サービス

水道施設

- ・ 水道施設の機能維持
- ・ 老朽管路の計画的な更新、耐震化

水質 ・ 水源

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 水源の保全・ 水安全計画の運用・ 3階直結給水エリアの
情報提供・ 鉛製給水管の早期解消・ クリプトスポリジウム対策 | <ul style="list-style-type: none">・ 原水水質の把握・ 水質管理体制の強化・ 残留塩素濃度の把握と
安定的な維持・ 貯水槽設置者に対する
啓発 |
|--|---|

経営

環境

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 省エネルギー化の推進・ 効率的な漏水の解消 | <ul style="list-style-type: none">・ 有効率の向上 |
|--|--|

災害対応



津山市水道の課題（2）

水需要 動向

お客様 サービス

- ・ 市民ニーズの把握
- ・ 給水サービスの充実

水道施設

経営

- ・ 老朽化施設の更新費用増大
- ・ 耐震化費用の増大
- ・ 財源の確保
- ・ 経費の削減
- ・ 職員数の確保
- ・ 水道料金のあり方の研究
- ・ バランスの取れた職員配置
- ・ 技術力の確保と技術継承
- ・ 動力費/人件費/物価の上昇
- ・ 広域化、官民連携

水質 ・ 水源

災害対応

- ・ 広域化連携の検討
- ・ 備蓄品の確保
- ・ 危機管理マニュアルの充実
- ・ 防災訓練の継続、充実
- ・ 災害に関する情報提供
- ・ 災害時の人員確保

環境



基本理念と目標

【基本理念】

津山の水道を未来まで

安全安心な 津山の水道

安全で良質な水を安定的に供給するため、高度浄水処理や水道検査体制の強化に努めるとともに、老朽化した水道施設の更新、耐震化等に取り組みます。岡山県広域水道企業団との連携などを図り効率的かつ安全な水の供給に努めます。

強靱な 津山の水道

大規模災害時においても必要最小限の給水が可能となるよう、主要配水池の耐震化や緊急遮断弁の設置を行いライフラインの確保に取り組みます。

健全で 持続可能な 津山の水道

給水量や給水人口の減少に伴う事業収益の低下並びに老朽化施設の更新などの将来見通しを踏まえ、水道料金のあり方の研究や計画的な事業推進に努め、経営の効率化を図り健全で持続可能な事業運営を行います。



安全安心な津山の水道

【基本理念】

津山の水道を未来まで

安全安心な 津山の水道

安全で良質な水を安定的に供給するため、高度浄水処理や水道検査体制の強化に努めるとともに、老朽化した水道施設の更新、耐震化等に取り組みます。岡山県広域水道企業団との連携などを図り効率的かつ安全な水の供給に努めます。

強靱な 津山の水道

大規模災害時においても必要最小限の給水が可能となるよう、主要配水池の耐震化や緊急遮断弁の設置を行いライフラインの確保に取り組みます。

健全で 持続可能な 津山の水道

給水量や給水人口の減少に伴う事業収益の低下並びに老朽化施設の更新などの将来見通しを踏まえ、水道料金のあり方の研究や計画的な事業推進に努め、経営の効率化を図り健全で持続可能な事業運営を行います。



安全安心な津山の水道

安全安心な津山の水道

強靱な津山の水道

健全で持続可能な津山の水道

主要施策

1. 水質事故の防止

2. 水質管理体制の強化

3. 貯水槽水道の指導

4. 鉛製給水管の解消

5. 市内塩素濃度の適正化

6. 安心のための水源活用

具体的取組

- ①水質事故訓練における関係機関との連携強化
- ②原水の汚染要因の把握と水質管理強化
- ③指定給水装置工事事業者に対する審査・指導の徹底
- ④地下水源に対する浄水施設整備・代替施設整備の推進

- ①水安全計画策定と適正な運用の推進
- ②岡山県広域水道企業団との連携強化

- ①貯水槽の管理に関する広報の検討

- ①鉛製給水管布設箇所の把握と取り換えの加速
- ②鉛製給水管に関する広報の強化

- ①残留塩素濃度の改善策の検討の加速

- ①異なる水源である小田中系、草加部系の活用の継続



強靱な津山の水道

【基本理念】

津山の水道を未来まで

安全安心な 津山の水道

安全で良質な水を安定的に供給するため、高度浄水処理や水道検査体制の強化に努めるとともに、老朽化した水道施設の更新、耐震化等に取り組みます。岡山県広域水道企業団との連携などを図り効率的かつ安全な水の供給に努めます。

強靱な 津山の水道

大規模災害時においても必要最小限の給水が可能となるよう、主要配水池の耐震化や緊急遮断弁の設置を行いライフラインの確保に取り組みます。

健全で 持続可能な 津山の水道

給水量や給水人口の減少に伴う事業収益の低下並びに老朽化施設の更新などの将来見通しを踏まえ、水道料金のあり方の研究や計画的な事業推進に努め、経営の効率化を図り健全で持続可能な事業運営を行います。



強靱な津山の水道

安全安心な津山の水道

強靱な津山の水道

健全で持続可能な津山の水道

主要施策

1. 計画的な施設の更新

2. 計画的な管路の更新

3. 施設の耐震化

4. 緊急時の飲料水
及び資機材の確保

5. 応急給水活動体制の構築

6. 災害対策に関する広報の充実

具体的取組

①小田中系導送配水システムの最適化

②計画に基づいた施設更新

①更新基準年数に基づいた管路の更新

②更新を優先すべき重要度の高い管路の選定

①基幹施設の更新に合わせた耐震化の推進

②管路の更新に合わせた耐震化の推進

③更新計画と整合する耐震化計画の策定

①災害時における緊急給水拠点のさらなる確保

②資機材の備蓄と適切な管理の推進

③資機材の共同備蓄及び調達ルートの検討

①大規模災害に備えた応急給水体制の見直し検討

②危機管理マニュアルに基づいた効果的な訓練の実施

①耐震化等の現状に関するわかりやすい広報の実施



健全で持続可能な津山の水道

【基本理念】

津山の水道を未来まで

安全安心な 津山の水道

安全で良質な水を安定的に供給するため、高度浄水処理や水道検査体制の強化に努めるとともに、老朽化した水道施設の更新、耐震化等に取り組みます。岡山県広域水道企業団との連携などを図り効率的かつ安全な水の供給に努めます。

強靱な 津山の水道

大規模災害時においても必要最小限の給水が可能となるよう、主要配水池の耐震化や緊急遮断弁の設置を行いライフラインの確保に取り組みます。

健全で 持続可能な 津山の水道

給水量や給水人口の減少に伴う事業収益の低下並びに老朽化施設の更新などの将来見通しを踏まえ、水道料金のあり方の研究や計画的な事業推進に努め、経営の効率化を図り健全で持続可能な事業運営を行います。



健全で持続可能な津山の水道

安全安心な津山の水道

強靱な津山の水道

健全で持続可能な津山の水道

主要施策

1. 水道施設の施設能力の適正化
2. 施設の適切な維持管理
3. 経費削減と財源確保
4. 組織、技術の継承
5. 広域化及び民間活用
6. サービス向上、水道利用促進
7. 有効率の向上
8. 環境対策

具体的取組

- ①配水池等の統廃合やダウンサイジングを含めた施設能力の適正化の推進
- ①計画的な予防保全による施設の長寿命化対策の強化
- ②アセットマネジメント及び点検記録、修繕記録など備蓄データに基づいた効果的な保全計画の策定
- ①企業債の運用検討や補助メニュー等の情報収集の強化
- ②経営分析の継続と水道料金の適正水準の検討
- ①バランスのとれた職員配置
- ②専門技術の確実な継承
- ①岡山県内水道事業体との広域的な連携協議の継続
- ②包括業務委託のモニタリングの継続
- ①広報紙及び公式サイトの充実
- ②市民を対象とした浄水場見学会の実施の充実
- ③市民ニーズを把握するための取り組みの検討
- ④要望や苦情等の記録の蓄積と改善策の検討
- ⑤給水普及率の向上
- ①漏水の多い施設更新の強化
- ①法令に基づいた省エネルギー化の推進の検討



水道施設整備計画（１）

主要課題事業

- ①小田中系
導送配水システム最適化
【ほぼ完了】
- ②草加部
第1配水池配水幹線更新
- ③久米地区水系統合 【完了】
- ④加茂・阿波地区施設整備

その他の取り組み

- ①浄水場更新計画
- ②場外施設更新計画
- ③管路更新計画
- ④石綿管・鉛製給水管
更新計画
- ⑤漏水多発管路更新、
水量不足管路増強
- ⑥固定資産移転補償工事



水道施設整備計画（２）

主要課題事業

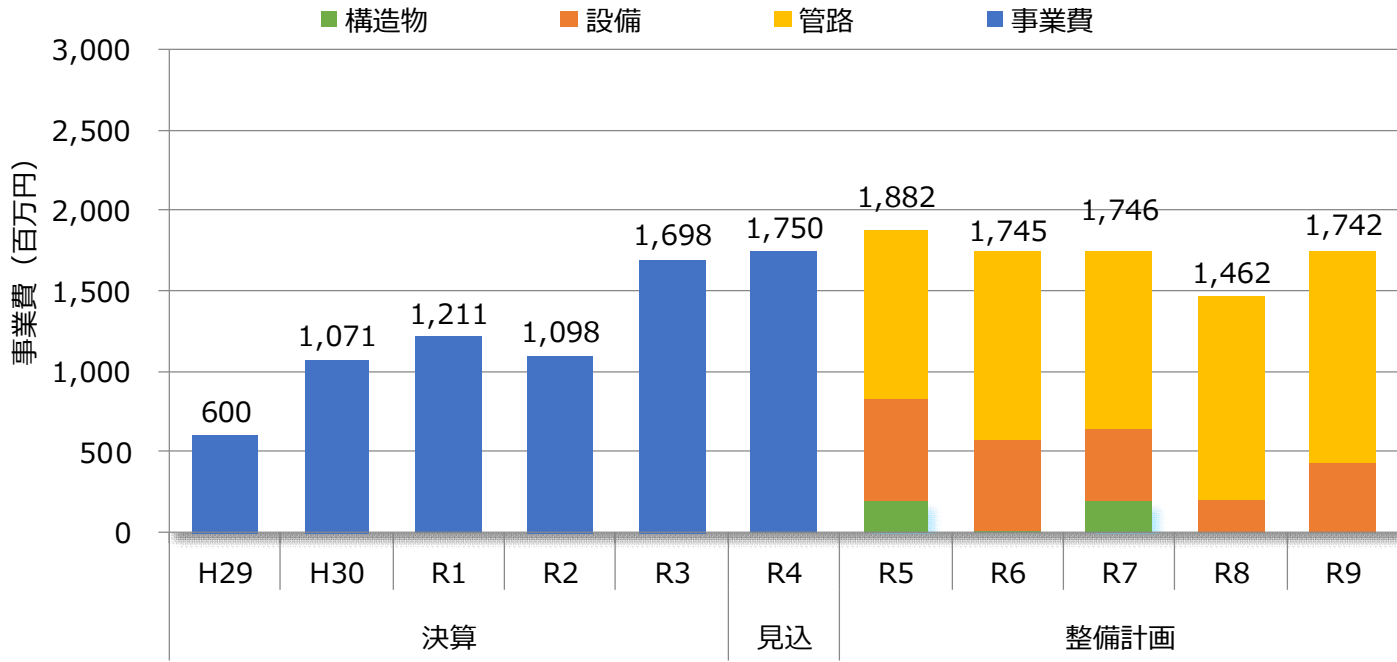
- ①小田中系
導送配水システム最適化
【ほぼ完了】
- ②草加部
第1配水池配水幹線更新
- ③久米地区水系統合 【完了】
- ④加茂・阿波地区施設整備

その他の取り組み

- ①浄水場更新計画
- ②場外施設更新計画
- ③管路更新計画
- ④石綿管・鉛製給水管
更新計画
- ⑤漏水多発管路更新、
水量不足管路増強
- ⑥固定資産移転補償工事



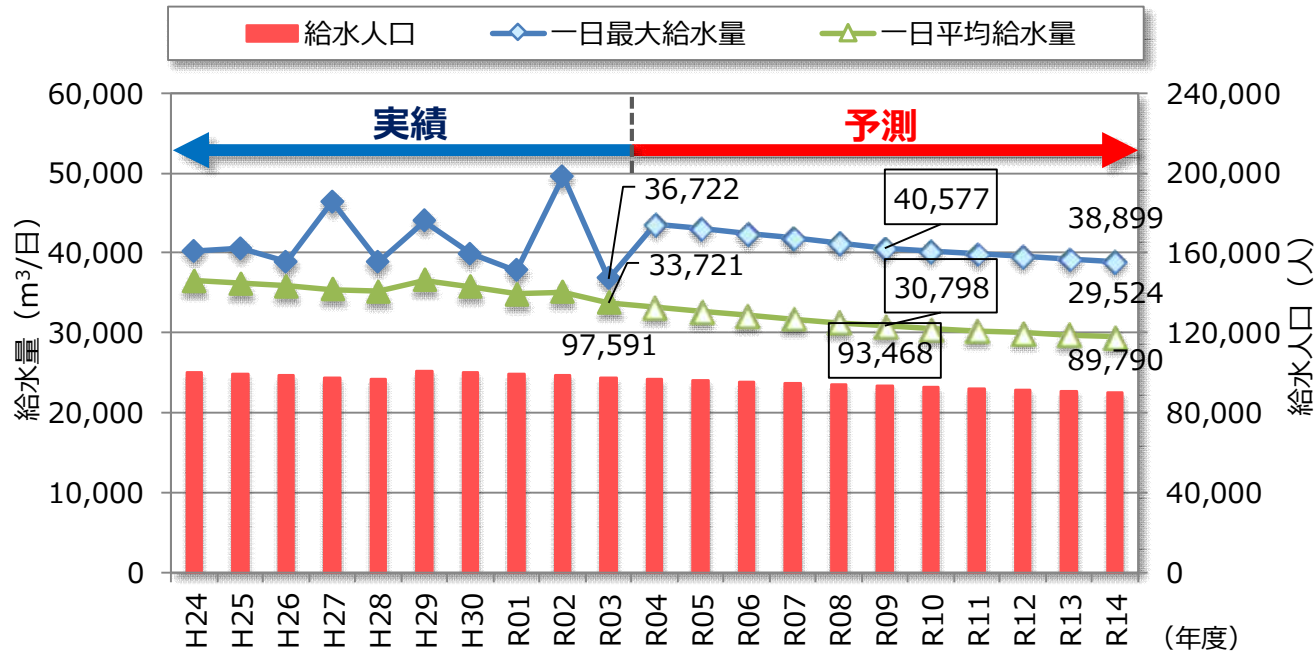
事業費の推移



- 令和5年度以降、年間15億円から20億円程度の事業費が発生する見込み



給水人口および給水量の見通し

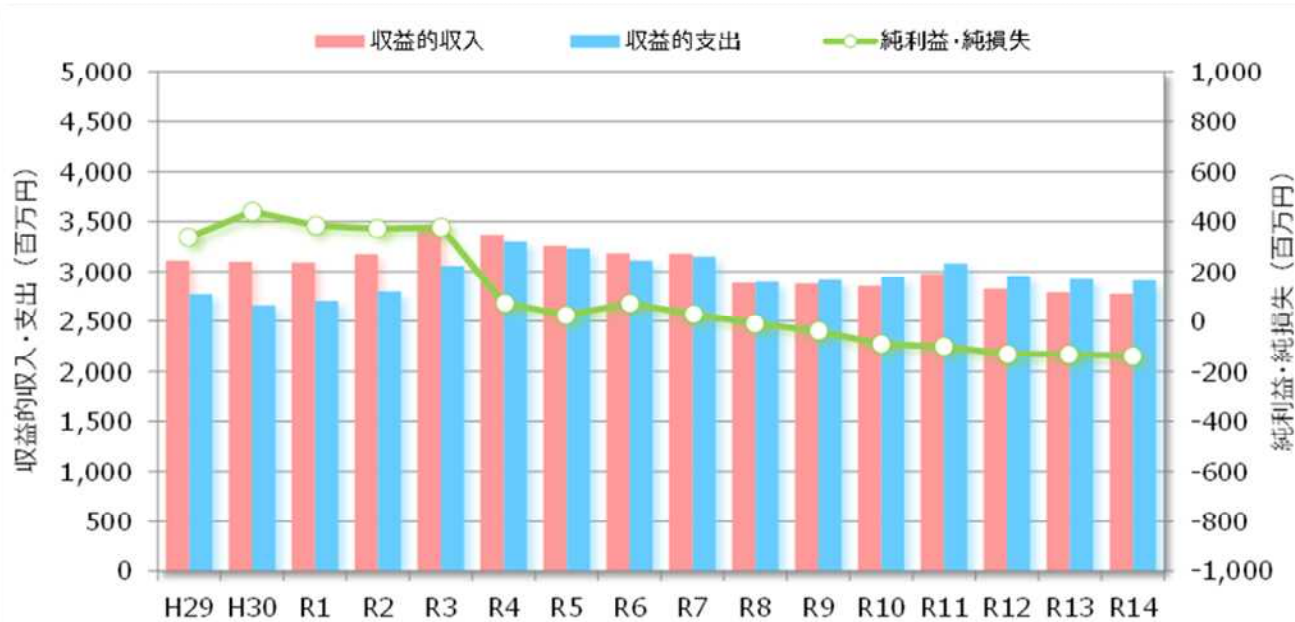


- 目標年度の令和 9 年度における給水人口は93,468 人、一日平均給水量は30,798 m³/日まで減少すると予想
- 給水人口、給水量ともに令和 10 年度以降も減少が続く見込み



財政収支の見通し

【収益的収支・資本的収支】

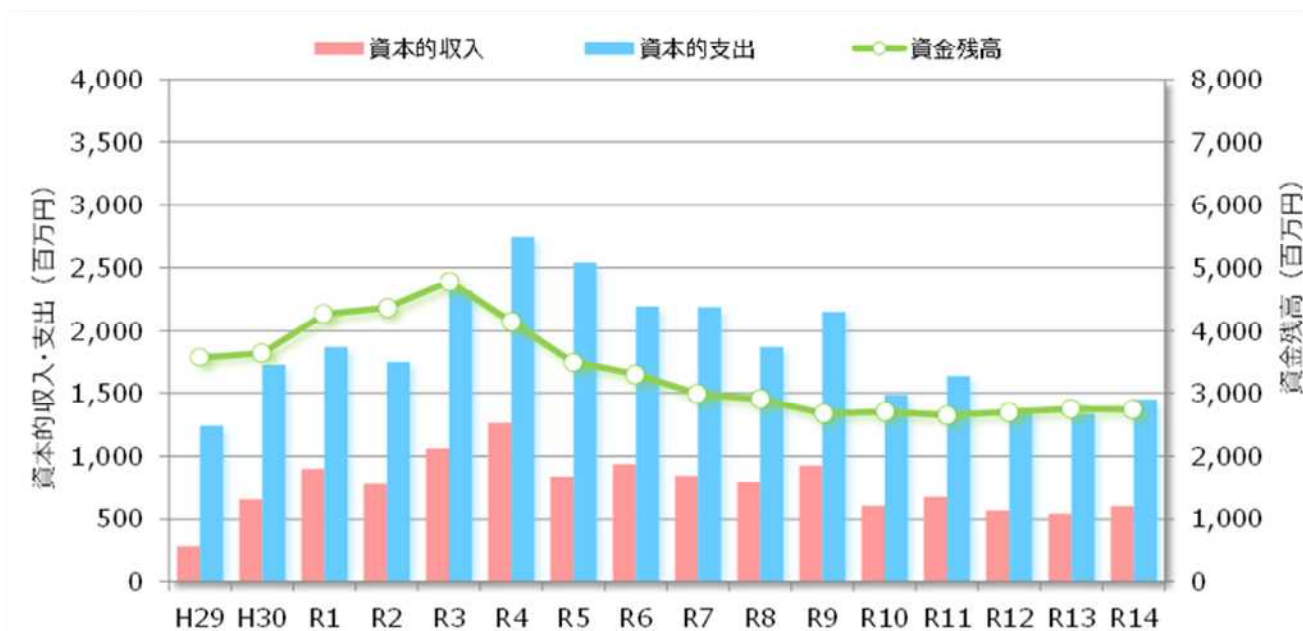


- 収益的収支は、人口・給水量の減少に伴う収入の減少と動力費の高騰などによる支出の増加に伴い、令和 8 年度以降赤字に転じる見通し



財政収支の見通し

【収益的収支・資本的収支】



- 更新事業の財源不足額は、当面は保有する留保資金で賄うことが可能
- 長期的には、収益的収支の赤字額の拡大などにより、更新事業に必要なとする資金が不足する恐れ



持続可能な財政基盤の強化

- 近い将来、収益的収入が収益的支出を下回る単年度赤字となる見通し
- 不慮の事故や災害等の発生に備えるため、また、引き続き行われる更新事業に対処するための資金も必要



将来にわたって持続可能な財政基盤の強化を図るため、下記の実施を推進

- 料金の適正水準の検討
→「津山市水道事業経営審議会」による審議
- 更新事業の方向性や投資の見直し
- 上記の実施結果の津山市水道ビジョン（令和 9 年度改定）への反映